

# いのちとくらし、北の大地をつなぐ地域の動脈 「守ろう！日高線」 メッセージ



日高管内 町 町長 様

参院選直後の7月22日、日高線沿線7町長の臨時町長会議が開催され、9月24日の次回会合にむけて、日高線の今後について、これまで論議されてきた①全線復旧、②全線バス転換、③一部転換の3案を、「1本化」との協議が行われたと報道されました。

豊かな自然条件を生かした北海道の未来と結びついて走り続ける地域鉄道は北海道と地域の宝です。現在はJR北海道の唯一の「株主」であり、民営化時には「分割民営化で元気になります」「ローカル線もなくなりません」とした国も責任を免れません。全ての鉄道の存続、「災害」による運休が続く日高本線、根室本線の1日も早い運行再開を求めます。

2015年の高波被害以来4年以上も運休が続く日高線も災害復旧・国土保全は国の役割です。

**鉄道の存続は住民の道理ある願い。決して地域エゴではありません。**

JRや国は地域に結論を急がせていますが、JR問題は各路線ごとにきめられる性質のものでありません。基本的人権としての公共交通確保、北海道と地域の未来、環境問題、インバウンドと交通、北海道農業と物流問題など論点はまだまだあり私たちも、開かれた議論を求めています。

「廃線ありき」でなく復旧・存続を求める住民のみなさんの声に耳を傾けて下さるようお願いいたします。

月 日

名前

住所

(私のひと言)